

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第2次提案書

- 注1) 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。  
 注2) 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。  
 注3) 添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、1次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)

提案グループ名 (25字以内)	弘明寺 チームNECTA COLLECT
整備場所 (町名又は丁目まで記入)	南区 大岡2丁目
提案名 (25字以内)	生き辛い世の中を生きる青少年のための居場所づくり
助成金申請予定額	495万円
整備する施設 (具体的な整備内容※1を工夫した点※2にも触れて記入してください) ※1施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください ※2住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	<p>整備予定地の「B型継続支援事業所ACE」の設備・内装を拡充して、近隣に生活する青少年・子供たちによる「お菓子工房」を整備します。事業所の営業終了後の時間や休日を活用してお菓子作りや交流の場、居場所としての活用を出来るようにします。</p> <p>整備内容として、コンベクションオープンと冷蔵庫や冷凍庫を整備して、子供たちや青少年が気軽に集い、スイーツなどの研究や開発、試食などを行うとともに、スイーツづくりをきっかけとして、引きこもりや孤独感、生き辛さなどの問題を抱える青少年の参加を促します。施設の運営は設立予定のNPO法人が行います。</p> <p>NPOには来春卒業予定の生徒数名が参加を申し出てくれており、年長者が若年者の課題解決や悩み相談を行います。支援を受けた者が、支援者となり年少者を支援していくことで、この活動は持続可能となります。</p> <p>本活動の事例を積極的に発信することにより、その活動は地域や社会そして未来にとって必ず有意義なものとなります。</p> <p>地域に生活する様々な課題を抱える青少年の社会参加の勉強をする場所、すなわち社会人になる前に少し社会に出るための準備をする場所となります。</p>
施設の活用・活動内容 (具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください) ※第1次提案書より具体的に記入してください	<p>就労支援施設の使用外の時間帯（平日の17時以降及び土日）を解放し、近隣に生活する孤独や孤立による引きこもりや生き辛さなど様々な課題を抱える青少年の居場所として活用してもらおう。</p> <p>菓子やスイーツの開発、製造、販売体験を通じて、様々な課題を抱える青少年の将来的な就業や自立を目的とする。</p> <p>そこに通う子どもたちの発案により地域イベントを開催し、地域の活性化につなげるとともにスマートフォン教室や試食会などのイベントを開催し、コミュニケーション能力の向上や防犯、防災活動を行います。</p>

<p>提案の背景 (なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください) ※第1次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください</p>	<p>施設予定地の近隣には、様々な課題により、生き辛さを抱えている高校生や青少年が多く存在している。 これからの時代を担うであろう若い世代を地域全体で支えていくという課題が、弘明寺という地域には存在している。 弘明寺地域にある横浜総合高校の近くには、カフェやカラオケ店など生徒が放課後にコミュニケーションをとる施設が全くなく、どうしてもコンビニやマンションの駐車場などにたむろし、近隣住民から迷惑であると誤解を受けている現状がある。また、学校内に経済的格差があり、遊びに行きたくても遊びに行けない生徒が多く存在している。従って、それらの生徒の居場所を作ることは、地域における重要な課題となっている。</p>
<p>整備プロセス (スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)、費用削減の工夫に触れて説明してください)</p>	<p>一次コンテストの後、横浜総合高校や弘明寺商店街との連携を強化し、地域で子どもたちを育む活動に協力を得る関係性を構築してきました。 学校でメンバーがクッキーを配布することで、在校生に今の活動を知ってもらおう活動を始めています。 既存の福祉施設の就業時間以外の空き時間を使用することで、椅子や机の家具類を購入することもなく、施設の設備を共用することで、開所の費用が安く抑えられています。</p>
<p>維持管理・運営計画及びその実施方法 (維持管理・運営するときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)に触れて説明してください)</p>	<p>当初は週末に週に一回程度の開催とし、その後、開所日数を増やしていく予定です。 横浜総合高校などの卒業生が、支援員として在籍し、在校生を支援してまいります。また、福祉施設の社員が運営に協力いたします。 今提案で設置する設備を就労支援施設に貸し出すことで定期的な運営資金を得ます。また、就労支援施設で製作しているクッキーを商店街やマルシェなどで販売し、運営資金を得ることが出来るので運営面での資金的な懸念はありません。 横浜総合高校、みなと総合高校などの卒業予定者が協力を申し出てくれており、すでに活動に参加してくれています。現在その仲間たちとNPO法人(仮称NPO法人 フラター)を設立すべく準備を進めており、NPO法人設立後は、その法人が運営にあたります。</p>

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

<p>1次コンテスト以降の活動内容 ※詳細については添付資料(任意様式)に記入してください</p>	<p>数回のチームミーティングを行い、今後の方針として、お菓子やスイーツの研究、開発、試作、試食を通じて様々な課題を抱える青少年の居場所とすることを仲間と共有しました。 横浜総合高校生徒へのクッキーの提供活動、マルシェでのクッキーの販売活動、能登地震の復興支援活動などチームネクタコレクトで行いました。他に、実際に講師を招いて、シュークリームやレモンケーキの製作体験を行いました。他に関東学院大学関内キャンパスでの能登地震復興支援、横浜総合高校の文化祭でも活動を行っています。</p>
---	--

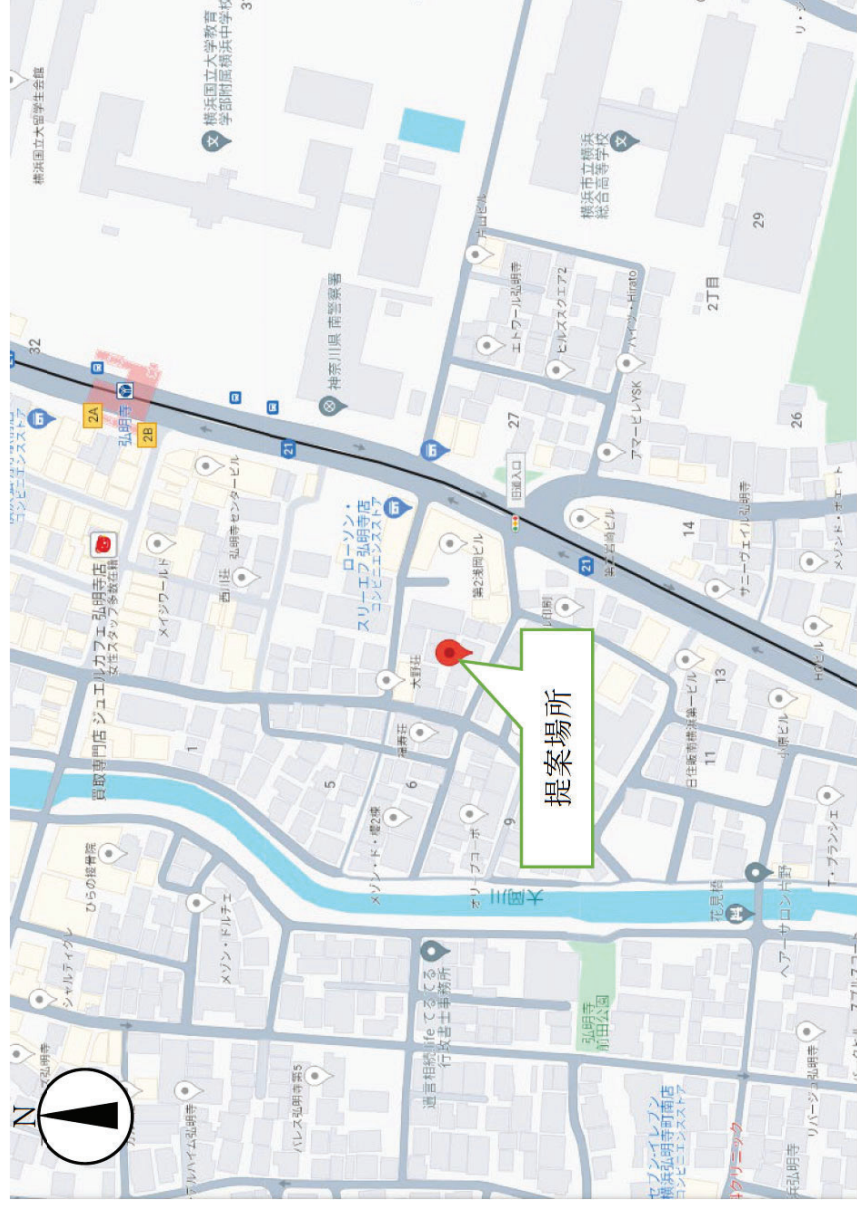
	それらの活動はメンバーの個人的なアカウントですが、InstagramやFacebookで公開をしています
関係者の合意・調整状況 (地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください)	近隣住民、地権者には、状況を説明し、同意を得ています。 弘明寺商店街、弘明寺観音の住職にも場所提供など協力を依頼し、了承を得ています。 横浜総合高校で週1回水曜日に生徒の悩み相談や貧困家庭の生徒への食事提供を目的として開催されている「ようこそカフェ」で、就労支援事務所で製造されたクッキーをメンバーが生徒に渡す活動を行っており、横浜総合高校とは盤石な関係性が構築出来ており、今後はみなと総合高校、戸塚高校へその活動を広げていく予定です。
その他提案について特にPRしたい点を記入してください	まち普請において、今提案は、前例のない提案であると聞きました。私たちの提案は、確かに子どもたち中心に物事を考え、子どもたちだけの支援を目的とした活動に見えてしまうかもしれません。 今活動は、地域や全世代にとって必ず有益な活動になると確信しています。未来を担う若者が生き生きと生活することで、その波及効果は全世代に及ぶものと確信しております。中学生の10人に1人が不登校に陥っているという現実があり、実際に提案メンバーの通う横浜総合高校では、年間に100人を超える退学者を出している現実があるのです。そして地域には孤独や孤立に悩み、更に心を閉ざしてしまう青少年が多く存在しているのです。そこに光を当てることこそが、今提案の目的であり、その現状が少しでもよくなるよう、皆で協力し、アイデアを出しながら、地域ぐるみで改善していきたいと考えています。まち普請で言う「まち」とは何か、人あってこそその「まち」であり、未来を担う「人」を育むことが「まち」の始まりなのではないでしょうか？ 次の時代を切り開く人材なくして「まち」は持続していけないのです。 大人はほんの少しだけ手助けをすればよいのです。 子供たちの可能性を信じ、その子供たちが自ら未来に期待をもてる「まち」を創っていくことを期待したいと思います。
目指す地域の将来像 (施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください)	高齢化が進む地域において、活力ある若者が生き生きと生活する弘明寺を作ること。 また、その活動がサステイナブルな活動であること。今活動が未来や社会に必ず大きな利益をもたらし、地域からなくてはならない活動であると思われる活動をすること。 弘明寺地域から生き辛さを抱える青少年が一人でもいなくなり、輝ける未来を送れるようになる活動 そしてその活動を全国へと広げてまいります。 私たちの今提案は、弘明寺の地域だけでなく県内、そして全国へと広がる活動になると思います。人こそがまちの始まりであると捉える、私たちの提案する新たなまち普請にご期待ください。

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

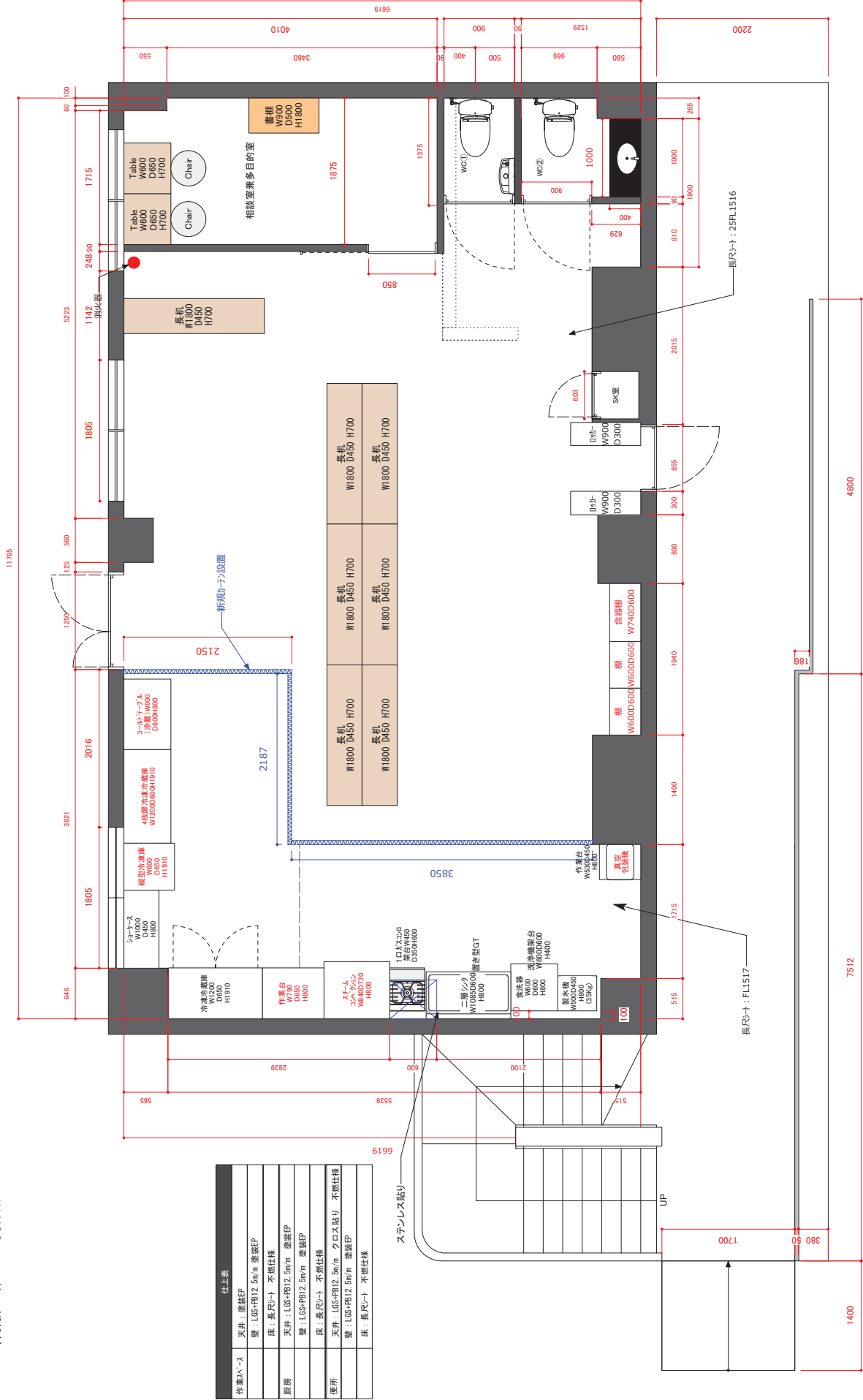
# 位置図 出典：Google map

提案場所：南区大岡2丁目



・赤字・青字部分が整備対象です。

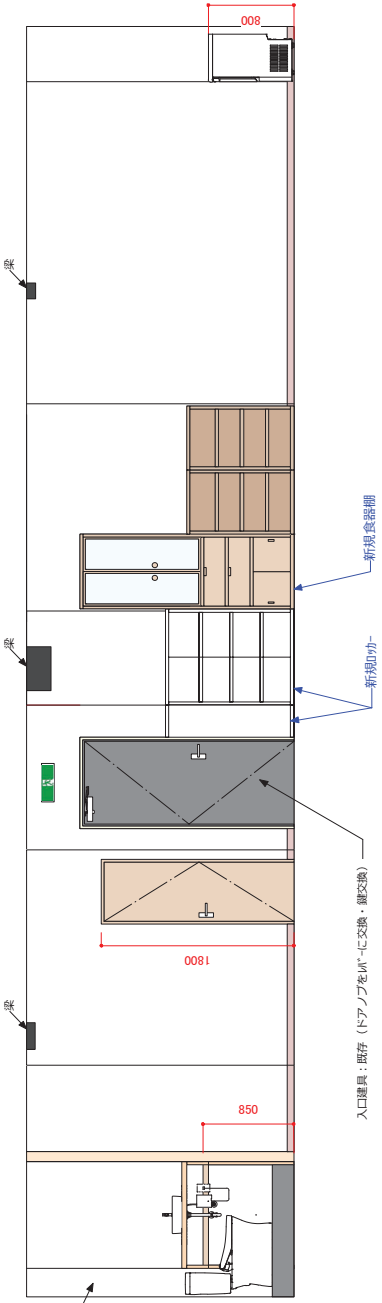
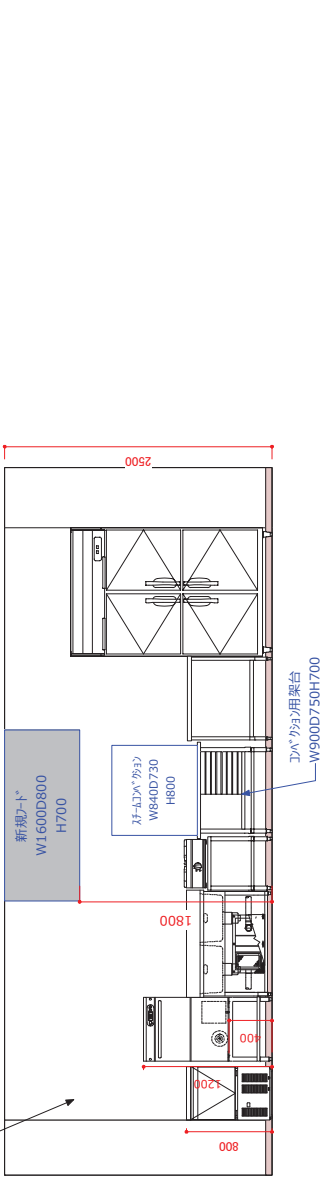
作業スペース 60.7㎡



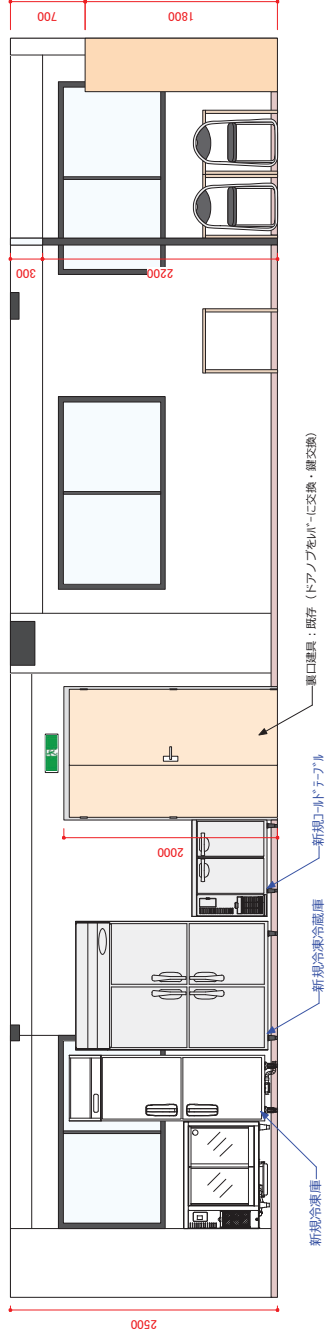
仕上表	
作業スペース	天井：塗装EP
	壁：LGS+PB12.5m/m 塗装EP
	床：長尺シート 不燃仕様
扉閉	天井：LGS+PB12.5m/m 塗装EP
	壁：LGS+PB12.5m/m 塗装EP
	床：長尺シート 不燃仕様
便所	天井：LGS+PB12.5m/m クロス貼り 不燃仕様
	壁：LGS+PB12.5m/m 塗装EP
	床：長尺シート 不燃仕様

完成予想図

壁：加仕上  
SP2805



加：RES3735



## ヨコハマ市民まち普請事業

### 想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の負担等)
仮設工事	墨だし、養生 クリーニング	一式	100,000	100,000	
解体工事	残材処分費	一式	50,000	50,000	
什器工事	棚板	一式	100,000	100,000	
内装工事	カーテンレール、カーテン	一式	200,000	200,000	
板金工事	ステンレス貼り	一式	100,000	100,000	
厨房器具	スチームコンベクション	1台	1,500,000	1,500,000	
厨房機器	冷凍冷蔵庫、冷凍庫、コールドテーブル、真空機、作業台	各1台	1,000,000	1,000,000	
換気設備工事	ファン、ダクト、フード、グリスマイフィルター	各1台	750,000	750,000	
電気設備工事	厨房機器電源工事	一式	200,000	200,000	
給排水設備工事	接続工事 配管工事	一式	200,000	200,000	
その他経費	現場管理費 駐車代	一式	300,000	300,000	
消費税				450,000	
合 計				4,950,000	

# 活動報告書

## 弘明寺 チーム NECTA COLLECT

令和6年11月28日

令和5年4月	設備予定地に継続就労支援施設B型事業所「ACE」開所
令和6年5月	横浜総合高校在校生、卒業生を中心に「弘明寺チームNECTA COLLECT」結成
令和6年5月	活動目的と方針を確認 仲間づくり開始
令和6年7月	1次コンテスト 14チーム中12位 最低投票にて通過
令和6年8月	地域の課題探求 横浜総合高校生徒や商店街関係者に聞き取り
令和6年9月	施設利用者とメンバーによるクッキー作り（学福食の連携）開始
令和6年10月	横浜総合高校「ようこそカフェ」でクッキーの供給開始（隔週水曜日）
令和6年10月	みなと総合高校、蒔田中学校、戸塚高校に活動の輪が広がる
令和6年10月	馬車道で能登地震復興支援マルシェの開催
令和6年10月	馬車道マルシェでクッキーの販売開始
令和6年11月	講師を招いてのスイーツの製造体験イベントの開催
令和6年11月	横浜総合高校学祭「横総祭」でクッキーを無料配布（生徒への活動告知）
令和6年11月	関東学園大学関内キャンパスで能登地震復興バザーの企画実演
令和6年11月	機関紙はまかぜ新聞にて活動内容が掲載される

（今後の予定）

令和6年12月	戸塚にある子ども食堂でのクッキー無料配布開始（予定）
令和6年12月	弘明寺商店街観音橋で「横総大感謝祭」で地域活性化イベントを開催
令和7年1月	2次コンテスト



2次コンテスト事前質問集

【提案名グループ名】 弘明寺 チーム NECTA COLLECT	
事前質問	回答欄
朝比奈委員	
① 部屋の設備はわかりましたが、使い方を具体的に示してください。メンバー、日常的な利用者、またイベントの来所者などにどのように過ごしてほしいと考えていますか。	<p>まずはクッキーの製作体験から始めます。その後、ラスクやチーズケーキ、プリン、シュークリームなどいろいろなものを作る体験の場として整備場所を使用して参ります。</p> <p>監督者(指導員は)当面弘明寺チーム NECTA COLLECT、もしくは YEBISU DINING のスタッフが担当します。</p> <p>まずは横浜総合高校在校生、その後近隣に住まう課題を抱える青少年を迎え入れます。お菓子の製造体験を通じてコミュニケーション力や課題探求、課題解決の力を養って、将来的な就業や自立に繋がっていく活動を致します。</p>
② この場所の一押し(セールスポイント)を教えてください。	<p>今までに実施してきた体験活動やクッキーの製造活動を通じて、すでに今回のまち普請事業での提案は大勢の方に認知をされております。</p> <p>また人と場所に問題は全くないので、「設備」があればいつでも本格的な活動が行える準備が出来ているところです。</p>
③ 活動の収支計画を教えてください。開設当初と活動が軌道にのった後では異なると思いますのでその点をふまえてください。	<p>まち普請事業で設置する機材を共存する就労支援事業所に有償で貸し出すことで当面の活動資金を確保します。</p> <p>また、その後は NPO 法人を設立し、寄付や助成金を活用しながらこの活動をサステイナブルなものにしてまいります。</p>
植松委員	

<p>① 課題を抱える青少年の力になりたい、とのお気持ちはとてもありがたいものですが、彼らはお菓子やスイーツの製造体験を通じて就労や自立に向けて一歩が踏み出せるのか、という疑問を感じますがどのように考えていらっしゃいますか？</p>	<p>確かにお菓子作り＝自立にはならないと思います。ですが、皆で共同してお菓子を作ったりすることによるコミュニティへの参加や実際にみんなで協力して作ったものを食べるという行為自体は必ず彼らに好影響を与えるものであると考えます。大切なのは、課題を抱える青少年がまずその場所に来ることであり、皆で協力して何かをするということなのです。お菓子作りには特別のスキルは必要ありませんし、参加しやすさを考えたときにとっても良いと言えるのではないかと考えます。</p>
<p>② 町に青少年がくつろげる場所がない、とのことですが、お菓子作りのためにコンベクションオープン他、厨房機器をそろえることが中心で、課題を抱える青少年はそこへ来てどのように地域と関わっていきこうとするのかがよく見えないのですが、その辺りの見通しを教えてください。</p>	<p>自分たちで作ったものを実際に食べるということ。わかりやすく言えばキャンプで作るカレーです。楽しくワイワイと笑いながら同じものを作る時間は楽しいと同時に協調性も養われるはずです。また就労支援施設では実際にクッキーを製造し販売すると同時に、地域の子ども食堂や学校等で無償提供しています。将来的に子供たちが開発したお菓子が地域の子ども食堂や学校で提供される販路がすでにあるのです。子供たちには人から「ありがとう」と言われる人になるよう指導するつもりです。食と福祉と教育の融合に期待してください。</p>
<p>川原委員</p>	
<p>質問なし</p>	
<p>後藤委員</p>	
<p>① 現時点での予定で構いませんので1週間の活動スケジュールを教えてください。</p>	<p>今活動に全面的に協力してくれる横浜総合高校の企画部の生徒さんたちと相談のうえで決めたいと思いますが、平日の夕方週一回から始めたいと思っています</p>
<p>② 居場所の運営体制を具体的に教えてください。NPO フラターとはどのような組織</p>	<p>施設は当面弘明寺チーム NECTA COLLECT のスタッフや YEBISU DINING のスタッフが管</p>

<p>になりそうでしょうか？</p>	<p>理者となって運営します。</p> <p>他に元教師や元市職員の方がボランティアでの協力を申し出てくれているので協力を仰ぎます。</p> <p>NPO は横浜総合高校卒業生や就労支援施設 ACE の卒業生、YEBISU DINING のスタッフを中心に設立します。</p> <p>他に元教師、税理士、社会保険労務士、弁護士の士業の方にも加わっていただきます。</p> <p>法人の活動内容は課題を抱える青少年への相談支援、その他職業体験や無料人材紹介です。</p> <p>課題を抱える青少年が安心して働くことが出来る会社と一緒に見つけるお手伝いをします。</p> <p>そのスタッフは主に課題を克服して職に就いた横浜総合高校の卒業生が担当します。</p> <p>横浜総合高校卒業生の離職率を少しでも下げることが目的として運営を始めますが、横浜総合高校だけでなく他校や近隣に住む青少年の支援も行って参ります。</p>
<p>杉崎委員</p>	
<p>① 営業時間外に運営する居場所は誰が運営するのか（居場所開催時に誰がその場所にいるのか）を教えてください。</p>	<p>当面は ACE の職員、もしくは YEBISU DINING のスタッフがそれを担当します。</p> <p>他に元市役所職員の方や元教職員の方がボランティアでの協力を申し出てくれています。</p> <p>子供たちだけで場所を使用する事はありません。</p>
<p>② 居場所として活用するための行う具体的な整備内容を教えてください。</p>	<p>お菓子作りを行うための設備一式です。</p> <p>確かにお菓子作り＝居場所というのは理解され辛いかもかもしれません。</p> <p>ですが、お菓子作りは人を集めるツールに十分なり得るのです。</p>
<p>③ 運営を担う NPO 法人のメンバー（理事）</p>	<p>チーム NECTA COLLECT の代表と副代表、</p>

<p>の構成を教えてください。</p>	<p>他に横浜総合高校の元教職員、横浜総合高校卒業生及び在校生、就労支援施設 ACE の卒業生がメンバーとなります。</p>
<p>鳥海委員</p>	
<p>① 学校と家以外に自分の居場所があり、親と先生以外にも地域で見守る頼れる大人がいることを子どもたちに知ってほしいですね。青少年の居場所の有用性はとても理解します。今回整備予定の菓子製造のための什器やキッチン環境を揃える他に、子どもの居場所作りのために必要だと思っていること、大切にしたいと思っていることを教えてください。</p>	<p>ご指摘の通り場所があればよいというものではありません。 大切なのは信頼関係であり、その信頼を築くことは短期間ではできません。 私はコロナ禍の時期から横浜総合高校の生徒さんたちと交流することで信頼関係を構築してきました。 また、その交流を通じて精神面を理由に課題を抱えている生徒が多いであろうことにも気が付きました。 重要なのは彼らの言うことを聞くことです。 目線を合わせて話を聞くこと。 それに尽きるのではないかと思います。</p>
<p>② 従業者用手洗い設備等、菓子製造業許可をとるために必要な条件をクリアしていますか？提出にあたって保健所に相談はされていますか？</p>	<p>就労支援施設で実際に菓子を販売提供しています。 保健所にも相談し、食品衛生責任者も登録しておりますし、保健所からの指導や法令を遵守しております。</p>
<p>③ 新規設置のカーテンは何の目的で設置されますか？</p>	<p>イベントで対抗戦を行ったり、調理に興味を持ってない参加者がいた場合に使用します。</p>
<p>肥後委員</p>	
<p>質問なし</p>	
<p>松村委員</p>	
<p>① 設備を就労支援施設に貸し出す予定とありますが、それは ACE のことですか？整備された設備は誰の所有物になるのですか？</p>	<p>はい。ACE になります。 整備された設備は弘明寺チーム NECTA COLLECT の所有となります。 将来的には NPO の所有にしたいと考えております。</p>
<p>② 生きづらさを抱えている青少年にとって、クッキーやクッキー製作のもたら</p>	<p>まず食は人の心を豊かにします。 今活動の取り組みは、「食」「福祉」「教育」</p>

<p>す意味や効果とはどのようなものでしょうか？</p>	<p>の融合です。福祉事業所で製造されたクッキーを子ども食堂や学校などで無料配布している取り組みに青少年も参加し、その経験を通じて学びに繋げていくというものなのです。</p> <p>分かりやすく言うと、人から「ありがとう」と言ってもらう取り組みなのです。</p> <p>ありがとうと言ってもらうことでやりがい生まれ、やりがいが自身の成長となり、成長が新たな挑戦へつながっていきます。</p> <p>手前味噌ですが、本当に良い取り組みであると自負をしております。</p>
<p>③ 青少年支援の実践者や専門家とは、どのようなつながりを持っていますか？</p>	<p>横浜市立高校の元及び現役の教職員、横浜市の外郭団体である横浜ユース、横浜市立横浜総合高校、横浜市立みなと総合高校、NPO 法人横浜開港場など、青少年支援の専門家であるこれらの施設や団体と協力しながら実際に青少年支援を行っています。</p> <p>具体的には体験活動やイベントの企画実行です。</p> <p>他に信頼関係の下、青少年の個人的な相談に乗ったりしています。</p> <p>弘明寺チーム NECTA COLLECT 代表の私は、経営者の団体である、神奈川県中小企業家同友会 理事 飲食物販業部会長を拝命し、国際ロータリー横浜南ロータリークラブに所属しております。</p> <p>私の経営者としての人脈を生かし、上記団体以外にも様々な関係者や団体の支援を受け、本活動を運営して参ります。</p>